

## 下院本會議緊

――繰豫算案急本日  
四年戦役に功  
對し公債を交  
立り

## 感情

卷之二十一

議會に持出せ

労友會、友愛會、鑛夫  
協會の首腦者上京す

八幡製鐵所事件に關し、勞友、友愛兩會及團體協商の首腦等は最早此上は中央政府及帝國議會を動かすより外ならし。し友愛會よりは九州出張所主任木村綱吉、藤田義次郎、芳友會よりは済原良長令兄、鑑夫協會より一名上京委嘱して十日夜八幡出張東上の途に就きたるが十一日夜半中に一行を訪へは木村綱吉氏は語る。

製鐵所二萬の職工は假令工場に這入つてゐても何れ日向ぼっこをして怠氣を帶びてゐる丈で、燃氣費は廢棄してはゐない。全般の仕事の能率は先づ八分の一で、専賣分此の状態が續くてせう。白仁長もすつかり惜氣をぬぎます。官憲の懲治は依然甚しく嚴

工が、本室で騒いでゐるのを直ぐ憲兵が、車を駆駆して押寄せて来るといふ始末で仕事の指揮は職工よりも巡査がしてゐます。労友会の幹部は一時殆ど全部解体され、つい方に呉れてゐた事もあつたが、友愛会の他で演説會を開いた結果、漸く七名、な、餘き五十名計りは七日に釋放されました。併し製錬所の回答は全く要領を得ませんから、我々は此上は製商務大臣及び警察局長に會つて詰問し、尙代議士を駆使して、議會を動し、又一方演説會を開いて世間に真相を發表し與論に聞かせる考へです。我々は弛遠大義名分に依り、同國結して、正義の爲に腹ふ決心です。尙ハ幅々件に關聯して三井あたりでは労働團體に對し壓迫を加へ労働組合に入れ直ぐに起首するを考してゐるのと、三池炭坑で近く、紛争あらねば済みますまい。

八幡製鐵所事件に因る。し友、友要、兩會及鐵道大協會の吉勝者は最早中央政府及帝國議院を動かすより外途なし。し友要はより九州出張所主任木村徳吉、藤田俊次郎、旁友曾よりは源清原是令兄、鑑夫協會より一名上京委員として十日夜八幡出張東上の途に就きたるが十一日夜車中に一行を訪へて木村徳吉氏は語る。

製鐵所二萬の職工は般合工場に這入つてゐても何れも日向ぼっこをして怠業してゐる丈はで常識は廢物にそなつてゐないか能力を發揮してはゐない。全體の仕事の能率は先づ八分の一で俞當分此の狀態が續くでせう。白仁甚<sup>じん</sup>もすつかり情氣を失ます。官憲の壓迫は依然甚しく繼

工が本業で騒いでゐる所直ぐ憲兵が車を装備して押寄せて来るといふ始末で仕事の指揮は職工よりも巡査がしてゐます勞友会の幹部は一時全部機械を失つて遂方へ吳れたが事もあつたが友愛会その他で演説會を開いた結果漸く七八名を除き五十名許りは七日に解散されました。併し製鐵所の回答は全く要領を得ませんから我々は此上は慶商大臣及び警保局長に會つて詰問し尚代議士を駆訪して議會を動かし又一方演説會を開いて世間に真相を發表し與論に聞か考へて、我々は必ず大義名分に依り大同國結して正義に爲に懸ぶ決心です、尙ひ幡<sup>ハタ</sup>件に關聯して三井あたりでは労働團體に對し壓迫を加へ労働組合に入れ直ぐに融資するを考へてゐるのと三池炭坑<sup>ミツイシキヤク</sup>では近く一翁争あらねば済みますまい。

八幡製鐵所事件に因る。し友、友要、兩會及鐵道大協會の吉勝者は最早上は中央政府及帝國議院を動かすより外途なし。し友要よりは九州出張所主任木村徳吉、藤田俊次郎、旁友曾よりは濱原吉長令兄、鑑夫、協會より一名上京委員として十日夜八幡出張東上の途に就きたるが十一日夜車中に一行を訪へて木村徳吉氏は語る。

製鐵所二萬の職工は般合工場に這入つてゐても何れも日向ぼっこをして怠業してゐる丈はで常識は廢物にこそなつてゐないか能力を發揮してはゐない。全體の仕事の能率は先づ八分の一で俞當分此の狀態が續くでせう。白仁甚<sup>ま</sup>もすつかり情氣を失ます。官憲の壓迫は依然甚しく繼

工が本業で騒いでゐる所直ぐ憲兵が車を装備して押寄せて来るといふ始末で仕事の指揮は職工よりも巡査がしてゐます勞友会の幹部は一時全部機械を失つて遂方へ吳れたが事もあつたが友愛会その他で演説會を開いた結果漸く七八名を除き五十名許りは七日に解散されました。併し製鐵所の回答は全く要領を得ませんから我々は此上は慶商大臣及び警保局長に會つて詰問し尚代議士を駆訪して議會を動かし又一方演説會を開いて世間に真相を發表し與論に聞か考へて、我々は必ず大義名分に依り大同國結して正義に爲に懸ぶ決心です、尙ひ幡<sup>ハタ</sup>件に關聯して三井あたりでは労働團體に對し壓迫を加へ労働組合に入れ直ぐに融資するを考へてゐるのと三池炭坑<sup>ミツイシキヤク</sup>では近く一翁争あらねば済みますまい。